



International
Labour
Organization

高校生・大学生対象企画

ILO Youth Congress
The Week on Safety, Health & Well-being for All
EXPO2025 in Osaka Kansai Japan



©Expo 2025

職場の安全・健康・ウェルビーイング ～デジタル時代に生きる私たちの提案～

Designing Safety, Health and Well-being at Work in the Digital Age

参加申し込み期間：2024年5月7日（火）～5月31日（金）
事前セミナー：2024年7月～2025年3月（隔月・全5回・オンライン）
ピッチコンテスト決勝：2025年7月17日（木）午後@EXPO2025メインホール（大阪市）



事前セミナー（全5回：2024年7月～2025年3月）

職場の安全・健康・ウェルビーイングについて、ビジネスと人権、労働安全衛生等の専門家から、最新の知識と世界の動向について学びます。
（オンライン・アーカイブ配信あり）

01



ピッチコンテスト提案の作成&予選（2024年～2025年5月）

ピッチコンテストに向けた提案の作成を行います。
必要に応じて、専門家やメンターからのアドバイスが得られます。来年5月に予選審査を実施し、決勝戦に出場するチーム(4チームを予定)を決定します。

02



ピッチコンテスト決勝(2025年7月 ILO Youth Congress内)

ピッチコンテスト決勝は7月17日（木）午後に万博会場で開催されます。提案のプレゼンテーションは英語で行います。
2025年7月16日（水）～19日（土）まで、万博会場にて安全・健康・ウェルビーイング関連の様々なイベントが開催され、それらに参加することもできます。

03



提案の具体化&世界安全衛生会議での成果発表（～2026年）

企業・団体が採択した提案の具体化と実現に向けた検討を行います。その成果を、2026年に行われる第24回世界安全衛生会議で発表します。

04

参加にあたっての注意事項は2ページ目をご覧ください。

お問い合わせ：国際労働機関（ILO）駐日事務所



youth2025@ilo.org

参加申し込みにあたっての注意事項

【参加費・交通費・宿泊費について】

- 本イベント、企画への参加料は無料です。
- 2025年7月16日～19日まで、万博会場にてGlobal Initiative for Safety, Health and Well-being (GISHW)主催のイベントが開催されます。ピッチコンテスト決勝の参加者は、万博会場で行われるILO Youth Congressに招待されます（但し、大阪万博会場までの交通費・宿泊費は参加者の負担となります）。

【チーム構成・学年・スーパーバイザーについて】

- 参加申し込みはチーム単位となります（1チーム3名～5名。決勝出場チームのうち、大阪万博会場でプレゼンテーションに登壇する人数は1チーム当たり5名を上限とします。）
- 大学/学校単位での申し込みとなります。同じ大学/学校から複数チームの申し込みも可能です。
- 2024年4月時点で高校1年/2年生、大学1年/2年生/3年生の方が対象です。それ以外の学年の方もセミナーの受講、提案作成に向けたサポートとしての参加は可能です。
- 18歳未満の参加申し込みにあたっては、必ず保護者の同意を得てください。
- 大学/学校の教職員から1名スーパーバイザーとしてご登録をお願いします（諸連絡のため）。
学生・生徒のみの申し込みは出来ません。



申し込みフォーム

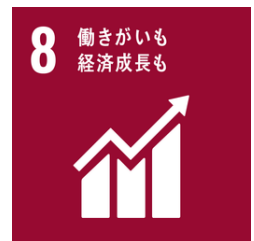
参加申し込み方法

- 参加申し込みフォームにアクセスし、必要事項を記入してください。
- 申し込みにあたって記載いただいた個人情報、その他の情報は、主催者にて適切に管理し、本イベントの運営、開催、連絡を目的として利用し、目的外は利用致しません。

「ビジネスと人権」とは

従来、国家の責務とされてきた人権（人間としての基本的権利）の尊重について、企業に人権尊重に取り組んでもらうことで、その実現を図ろうとする考え方です。2011年「国連ビジネスと人権に向けた指導原則」により初めて明文化されました。企業は「ビジネスと人権」に取り組むことで、自身の価値を高めることができ、社会課題を解決することで、社会に価値を生み出すことができます。

持続可能な開発目標（SDGs）との関わり



労働安全衛生とは

世界では、1日に約8,000人の人が労働による事故や病気により命を落としています。また、1日に100万人以上の人々が負傷しています。危険で過酷な業務に従事する人だけでなく、テクノロジーやAI、IoTの活用によって新たに生じる課題にも目を向ける必要があります。ILOでは、働く人々の安全と健康を守るため、事故や病気を予防するための方法や、労働環境の改善について世界各地で活動しています。



大学/学校の教職員の方へ

本イベントは、「ビジネスと人権（BHR）」の推進とともに、安全で健康的に働く権利に関する若い世代の意識と能力の向上を目標としています。また、若い世代と企業・団体がコラボレーションし企業・職場全体の労働安全衛生を改善・促進する行動への取り組みを通じて、ディーセント・ワークによる持続可能な社会の実現に貢献することを目的としております。大学/学校での実践授業、将来の進路選択を含めたキャリア教育にぜひご活用ください。